

問1 古墳時代を象徴する墓の形式で、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような独特の形状を特徴とし、大阪府にある日本最大の規模を誇る大仙古墳（伝仁徳天皇陵）にも採用されている名称を答えなさい。（2025年 島根公立入試 類似）

1. 前方後円墳 2. 前方後方墳 3. 円墳 4. 方墳

問2 中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭（日本）の王が南朝へ使いを送った「倭の五王」の記録があります。このうち、国内の稲荷山古墳（埼玉県）から出土した鉄剣の銘文に記された「ワカタケル大王」と同一人物であると考えられている王の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 愛媛公立入試 類似）

1. 倭王 讃 2. 倭王 珍 3. 倭王 済 4. 倭王 武

問3 大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）のような巨大な古墳が築かれた背景や、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 墳丘の周囲には三重の堀が巡らされており、王の強大な権力を誇示する目的があったと考えられる。
2. 古墳の表面には、仏教の影響を受けた装飾として、寺院から伝わった瓦が並べられていた。
3. 死者を弔うために、土で人や動物の形を作って焼き上げた土偶が墳丘の周囲に並べられた。
4. 古墳の形状は、日本独自の形式である円墳が採用され、大陸の影響を一切排除して造られた。

問4 4世紀から5世紀にかけての古墳時代、大陸から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられた、青灰色で非常に硬い土器の名称を答えなさい。（2023年 高知公立入試 類似）

1. 縄文土器 2. 弥生土器 3. 須恵器 4. 土師器

問5 巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。（2024年 栃木公立入試 類似）

1. 中国の南朝 2. 唐 3. 隋 4. 漢

問6 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 渡来人 2. 遣隋使 3. 防人 4. 御家人

問7 4世紀末から5世紀頃、ヤマト王権は大和地方を中心に勢力を拡大しましたが、その過程で地方の有力な豪族に対し、権力の象徴である銅鏡などを与える政策をとりました。この行為の主な目的として、当時の政治状況から考えて最も適切なものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）

1. 地方豪族との政治的な結びつきを強め、自身の支配下に置くため
2. 地方豪族に仏教を布教し、大陸の進んだ思想で精神的な統一を図るため
3. 全国の一律な税制を確立するために、度量衡の基準として鏡を配るため
4. 鉄製の武器を効率的に生産するための最新技術を、各地の豪族に共有するため

問8 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。（2024年 三重公立入試 類似）

1. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。
2. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。
3. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。
4. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。

問9 5世紀の日本各地における古墳の分布状況を見ると、近畿地方で誕生した特定の形式の古墳が、九州から東北地方までの広い範囲に築造されていることが分かります。この歴史的背景について説明した文として、最も適切なものはどれか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. 大和政権の支配や政治的なつながりが各地に広がった
2. 仏教の影響により、全国各地で国分寺が建立されるようになった
3. 墾田永年私財法の施行により、地方の有力者が荘園を形成した
4. 狩猟・採集の生活から、竪穴住居に住む定住生活へと変化した